教育訓練経費等確認書

○　以下の点に「正しく」お答えください。

○　記載すべきことを記載しなかったり、偽りの記載があった場合には、不正受給として、以後給付を受けられなくなるばかりでなく、返還命令（不正に受給した金額の返還）、納付命令（返還額に加え、返還額の２倍の金額の納付）を受け、また、場合によっては詐欺罪として刑罰に処せられることがあります。
　なお、不正の行為があるにもかかわらず、教育訓練給付の支給申請に係る公共職業安定所の調査・質問に虚偽の陳述をした場合は納付命令の対象となることがあります。

○　教育訓練経費とは、申請者自らが教育訓練施設に対して支払った入学料及び受講料（最大１年分）の合計をいい、検定試験の受講料、受講に当たって必ずしも必要とされない補助教材費、教育訓練の補講費、教育訓練施設が実施する各種行事参加に係る費用、学債等将来受講者に対して現金還付が予定されている費用、受講のための交通費、パソコン等の器材の費用、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額等については含まれません。
　受講開始日前１年以内にキャリアコンサルタント（職業能力開発促進法第30条の3に規定するキャリアコンサルタント）が行うキャリアコンサルティングを受けた場合は、その費用を、教育訓練経費に加えることができます（ただし、その額が２万円を超える場合の教育訓練経費とできる額は２万円までとなります。また、平成29年１月１日以降にキャリアコンサルティングを受講した場合に限ります。）。
　また、事業主等が申請者に対して教育訓練の受講に伴い手当等を支給する場合であっても、その手当等のうち明らかに入学料又は受講料以外に充てられる額を除き、教育訓練経費から差し引いて申請しなければなりません。ただし、教育訓練給付の支給を受けた後に、事業主等から手当等が支給された場合は、支給申請を行ったハローワークに速やかに届け出てください。
　なお、上記の受験料、受講者に対して現金還付が予定されている費用、手当等の有無やその内容につきましては、後日公共職業安定所により調査を行い確認させていただくことがあります。

1　現在、他の教育訓練講座を受講中ですか。又は今後、受講する予定はありますか（受給した給付金額の大小に関わらず、先に給付された教育訓練給付金が優先され、給付金を最後に受給した日の翌日から３年間は一般教育訓練給付金を受給することができません。また、給付金を最後に受給した日の翌日から10年間は専門実践教育訓練給付金の支給を受けることができません）。

はい　　いいえ
↓
・「はい」と答えた方に伺います。受講中又は受講予定の教育訓練講座の受講開始日（予定含む）はいつですか。

受講中　（受講開始日　　年　　月　　日）

受講予定　（受講開始日（予定）　　年　　月　　日）

2　教育訓練施設（販売代理店等を含みます。）に対して実際に支払った入学料・受講料の合計額はいくらですか。（支払っていない場合には０と記載して下さい。）

（　　円）

3　教育訓練施設（販売代理店等を含みます。）に支払うこととしてクレジット契約を結んだ入学料・受講料の合計額はいくらですか。（クレジット契約をしていない場合には０と記載して下さい。）

（　　円）

4　教育訓練施設（販売代理店等を含みます。）、事業所その他の団体から還付を受けましたか。又は受けることになっていますか。（奨励金、広報費、紹介料等名称の如何を問いません。）

はい　　いいえ
↓
・「はい」と答えた方に伺います。その場合の還付を受け、又は受けることとされている金額はいくらですか。

（　　円）

→裏面に続きます

5　教育訓練施設（販売代理店等を含みます。）、事業所その他の団体から支払いを猶予・免除されましたか。（クレジット契約の場合も含みます。）

はい　　いいえ
↓
・「はい」と答えた方に伺います。その場合の支払いを猶予・免除された金額はいくらですか。
（　　円）

6　受講申込時又は申込後に教育訓練施設（販売代理店等を含みます。）、事業所その他の団体から何らかの景品、商品（パソコン等の無償提供、割引、ポイント還元等を含みます。）等を受けましたか。又は受けることになっていますか。

はい　　いいえ
↓
・「はい」と答えた方に伺います。その場合の景品、商品等とは具体的にどのようなものですか。
（　　）

7　教育訓練実施者、教育訓練施設、教育訓練実施者の関係団体若しくは事業所その他の団体の奨学金制度を利用していますか。又は利用する予定がありますか。（奨学金制度とは、名称の如何を問わず、在学者の学業の奨励等を目的とし、受講者本人が負担すべき教育訓練経費（入学料及び受講料）に充てるべき性質を有する制度をいいます。）

はい　　いいえ
↓
・「はい」と答えた方に伺います。利用している（又は利用する予定のある）奨学金の名称、あるいは支給団体についてご記入ください。また、その場合の奨学金として支給され、又は支給されることとされている金額もあわせてご記入ください。

奨学金の支給団体名（　　）
奨学金の支給団体は、教育訓練実施者、教育訓練施設、教育訓練実施者の関係団体ですか。
はい　　いいえ
奨学金の名称　（　　）
奨学金の目的　（　　）
奨学金の金額　（　　円）

※　奨学金の目的には、奨学金の支援目的（入学金・受講料に対する補助を目的とするのか、生活費を補助するものか等）を具体的に記入してください。

・利用している（又は利用する予定のある）奨学金の返済義務についてお答えください。（現在は返済義務があるものの、将来返済が免除になる可能性のある方は、「特記事項」の欄にその旨をご記入ください。）

返済義務あり　（返済（予定）日：　　年　　月　　日　／　未定　）
（特記事項：　　）
返済義務なし

8　講座の修了試験を適切に受験しましたか。（施設より解答の提供を受けて答案を作成した場合などは適切なものとはいえません。）

はい　　いいえ

9　講座が資格試験等を目標にしている場合、その受験日又は受験予定日はいつですか。
また、受験していない（予定がない）場合は、その理由をお答えください。

受験した（する予定）
（受験（予定）日　　年　　月　　日）

受験していない（予定がない）
（理由　　）

以上申告します。

平成　　年　　月　　日
氏名　　印